

2019年 9月 4日

高次救命治療センターの外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「ドクターヘリにおけるFASTの有効性」への協力をお願い

高次救命治療センターでは、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年1月～2018年12月に当科において、ドクターヘリで超音波検査を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2024年 12月 31日

研究目的・方法：

ドクターヘリは病院前診療においてかかせないものです。岐阜県内外の患者をドクターヘリで岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターまで搬送していますが、ドクターヘリで行える診療には時間・環境共に制限が多く存在することが知られています。ドクターヘリでの focusde assessmet with sonography for trauma 外傷に対して心膜腔、胸腔、腹腔の液体貯留の有無の検索を目的として行う迅速簡易超音波検査法(以下FAST)は治療方針の決定に重要な役割を持っていますが、その報告は少なく、正診率などを調査することで今後の治療に生かすことができます。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

- ・年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、家族歴、投薬歴
- ・ドクターヘリおよび来院時のバイタルサインの経過、身体診察、FAST結果
- ・造影CT記録
- ・ISSスコア

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

電話番号 058-230-6448

氏名：市橋 雅大

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

氏名：三宅 喬人